

墨田区立学校適正配置

第一吾孺小学校・立花小学校

統合実施計画

平成18年12月

墨田区教育委員会

1 墨田区における適正配置のながれ

これまでの本区における区立学校の統廃合は、墨田区立学校適正規模等審議会から平成7年に受けた答申に基づき策定された計画により進めてきたが、隅田小学校と隅田第二小学校の統合が実現したことで当時の計画については完了をみた。しかし前回の答申から10年を経過した現在、複数の統合を実施してきたにもかかわらず、ここ数年の児童数の一部回復傾向があるとはいえ、全体としての少子化の進行により、小・中学校とともにさらに小規模化が進んできている。このような中、いっそうの区立学校適正配置の推進を図り小規模化の進行によって発生する諸問題の解消に努め、児童・生徒によりよい教育環境を提供していくため、改めて今後の区立学校の適正配置の考え方について墨田区立学校適正配置等審議会へ諮問を行った。本年2月には答申を受け、墨田区全域を対象とした見地からの新たな適正配置の考え方と具体的方策が示されている。教育委員会としては、この答申に基づき、現在、墨田区全域を対象とした新たな適正配置実施計画の策定に着手している。また、答申では同時に、墨田区全域の計画策定と実施には相応の時間を要することから、著しく小規模化が進行している区立学校に対しては、区全域の計画に先行し、緊急的な対応により一刻も早く状況の改善を図る必要があるとされたところである。

2 著しく小規模化が進行している区立学校への対応

小規模校においては、細やかな指導や親密な人間関係、また、異年齢集団による学習時の工夫等の利点はあるが、学校生活における対人関係や役割の固定化や、多様な友人との交流機会の減少、教員数の減少による正常な学校運営への弊害等が懸念されている。よって、著しく小規模化が進行している区立学校については、一刻も早くそれら学校教育への影響が懸念される問題点を解消し、学校教育環境の改善と一層の向上を図っていく必要がある。

現在、児童総数が87名と最も少ない立花小学校は、第2学年に欠学年を生じており、さらに、住民基本台帳から推測する通学区域内に住所を有する幼児数も少なく、今後児

児童数が大幅に増えることが見込める状況にない。また、第一吾孺小学校は昭和63年度以降、適正規模としている12学級を割り込んでおり、現在は11学級である。両校の通学区域は地理的に鉄道や河川等にほぼ囲まれており、通学区域の見直しで適正規模を確保していくことは難しい。そこで、両校の距離が近接していること、当該地域において今後の児童数に大きな増加が見込めないこと、第一吾孺小学校と立花小学校の歴史的経緯等から、両校の統廃合により適正規模・適正配置の実現を図る。

3 計画の性格

- (1) この計画は、第一吾孺小学校と立花小学校を対象として策定する。
- (2) この計画は、当該統合の実施における基本的な方向と具体的方策を示すものである。
- (3) この計画は、本年2月の答申に基づき、現在検討中の墨田区全域を対象とした新たな区立学校適正配置実施計画に先行して実施するものである。

4 統合実施計画

(1) 統合の対象校の校名及び所在地

第一吾孺小学校 （墨田区立花一丁目18番6号）

立花小学校 （墨田区立花一丁目25番27号）

（平成18年5月1日の各校の児童数・学級数）

学年	第一吾孺小学校		立花小学校	
	児童	学級数	児童	学級数
1年生	60	2	11	1
2年生	69	2	0	0
3年生	41	2	8	1
4年生	48	2	25	1
5年生	34	1	17	1
6年生	47	2	26	1
合計	299	11	87	5

(平成18年度学校施設の状況)

	第一吾孀小学校	立花小学校
創立	明治24年4月8日	昭和49年9月1日
敷地面積	7,052㎡	12,000㎡
運動場面積	2,006㎡	3,738㎡
教室数	普通教室 11	普通教室 5
	特別教室 9	特別教室 19
校舎面積	3,904㎡(昭和42・45年度改築)	4,762㎡(昭和49年度・57年度新築)
屋内運動場	1,333㎡(平成5年度改築)	758㎡(昭和49年度新築)
プール	25×10m(平成5年度改築)	25×10m(昭和49年度新築)

※ 教室数は現況使用状況による。また、特別教室数には音楽室・図工室等の教科別の教室の他、算数室や多目的室等の特別活動室を含む。

(2) 統合の時期

平成19年度末に第一吾孀小学校と立花小学校を廃止し、平成20年度から統合新校を設置する。

(3) 統合新校及び仮校舎の位置

統合新校の位置は、現第一吾孀小学校の位置とする。ただし、平成20年度は、仮校舎として現立花小学校を使用する。

(4) 統合新校の新校舎使用開始時期

現第一吾孀小学校校舎を平成20年度に改修し、平成21年度から使用する。

(5) 統合新校の通学区域

第一吾孀小学校と立花小学校の通学区域を合わせた区域を統合新校の通学区域とし、平成20年度から実施する。

(統合新校の通学区域)

文花二丁目	1～10番、20番
立花一丁目	全 域
立花二丁目	全 域
立花三丁目	2～11番

5 統合後の推計

平成20年4月統合後の児童数・学級数の推計は下表のとおりである。

学年	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1年	68	2	70	2	73	2	61	2	61	2
2年	70	2	68	2	70	2	73	2	61	2
3年	71	2	70	2	68	2	70	2	73	2
4年	69	2	71	2	70	2	68	2	70	2
5年	49	2	69	2	71	2	70	2	68	2
6年	73	2	49	2	69	2	71	2	70	2
計	400	12	397	12	421	12	413	12	403	12

※ 平成18年度実数を基に住民基本台帳（平成18年4月1日現在）からの入学対象幼児数を加算した推計値。

この2校の統合により、同一学年に複数の学級があり、6年間に2～3回の学級編成替えが可能となる1学年2学級以上の学校となり、将来的にも安定した学校規模を維持できると予測される。

6 計画の実現のために

地域や学校関係者を構成員とする統合地域準備会及び統合学校準備会を組織し、統合に関する諸課題について検討を行い、円滑に統合できるよう努めていく。